

**なばり暮らしあんしんセンター**  
なやみ一緒に  
☎0800・200・7831  
受付時間 平日午前10時～午後4時  
(年末年始を除く)  
お金や家庭、仕事、健康問題等、さまざまな悩みごとのご相談を受けします。ご相談は無料です。

## 令和2年度事業計画決まる

### 拠点別事業計画

#### 法人本部

##### 【法人運営事業】

法人組織のガバナンスと法令遵守の徹底による基盤強化に努め、安定した法人運営に取り組みます。

【地域福祉増進事業】  
第4次名張市地域福祉活動計画の初年度として、基本目標となる「ともに生きる豊かななばり」をめざして「事業を推進します。」



持続可能な財政運営を行うため、予算の適正かつ効果的、効率的な執行と経費削減に努めます。将来を担う人材の確保と育成に努めるとともに、働き方改革関連法等に基づいて、働きやすい職場づくりに取り組みます。

①地域づくり組織の福祉部会等への活動支援をすすめ、身近な福祉活動の解決に向け取り組みます。

②地域ささえあい活動団

③社会福祉法人が協働で取り組む公益的な事業の推進を図ります。  
④ボランティア養成研修等の強化を図り、多様な担い手の確保・支援に取り組めます。

⑤社会福祉法人が協働で取り組む公益的な事業の推進を図ります。  
⑥地域福祉の多様な担い

⑦社会福祉法人が協働で取り組む公益的な事業の推進を図ります。  
⑧ボランティア養成研修等の強化を図り、多様な担い手の確保・支援に取り組めます。

⑨社会福祉法人が協働で取り組む公益的な事業の推進を図ります。  
⑩ボランティア養成研修等の強化を図り、多様な担い手の確保・支援に取り組めます。

⑪社会福祉法人が協働で取り組む公益的な事業の推進を図ります。  
⑫ボランティア養成研修等の強化を図り、多様な担い手の確保・支援に取り組めます。

⑬社会福祉法人が協働で取り組む公益的な事業の推進を図ります。  
⑭ボランティア養成研修等の強化を図り、多様な担い手の確保・支援に取り組めます。

令和2年度 名張市社会福祉協議会 資金収支予算			
(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日			
		(単位:千円)	
事業活動による収支	収入	勘定科目	予算額
		会費収入	6,254
		分担金収入	1,052
		寄附金収入	800
		経常経費補助金収入	101,982
		受託金収入	132,640
		貸付事業収入	1,800
		事業収入	7,941
		介護保険事業収入	118,236
		保育事業収入	147,700
	受取利息配当金収入	46	
	その他の収入	2,425	
	事業活動収入計(1)		520,876
	支出	人件費支出	371,882
		事業費支出	100,425
事務費支出		35,008	
貸付事業支出		1,800	
共同募金配分金事業費		2,867	
分担金支出		2	
助成金支出		12,346	
負担金支出		55	
その他の支出		80	
事業活動支出計(2)		524,465	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△3,589	
施設設備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)	0
	支出	施設整備等支出計(5)	5,676
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△5,676
その他の活動による収支	収入	その他の活動収入計(7)	37,979
	支出	その他の活動支出計(8)	26,415
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		11,564
予備費支出(10)		1,250	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		1,049	
前期末支払資金残高(12)		97,988	
当期末支払資金残高(11)+(12)		99,037	

至つてしまふ危険性がある人に対し、早期に、かつ予防的な対応を行うための相談支援体制の強化に取り組めます。

②制度の狭間等で、必要な支援に結びついていない人を住民とともに、その人らしい居場所と役割を見出して、暮らせるよう理解者、協力者の拡充に取り組めます。

③一人暮らし高齢者や親族との関係が希薄な世帯が増えるなか、判断能力が不十分な人が地域で安心して生活が送れるよう、日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用者がメリットを実感できる体制の整備に取り組めます。

④社会的に孤立し、失業や病気で困窮状態に

【在宅福祉サービス・老人福祉センター「ふれあい」】  
介護保険制度における「老人デイサービス事業」「居宅介護支援事業」「老人福祉センター事業(介護予防事業含む)」3つの事業で構成され、高齢者の生きがい活動から、医療介護が連携して在宅生活を支援する在宅介護事業を推進し、「可能な限り在宅での生活が可能となる」ためのサービスを提供している部門です。

現在の介護保険制度が求める「自立支援介護・重度化防止ケア」「認知症ケア」「中重度ケア」をしつかりと提供できる体制作り・専門性の向上に努め、「安心できるケアで、信頼される事業所」を目指します。

名張市総合福祉センター「ふれあい」は、社会福祉事業を総合的に推進し、市民福祉の増進を図るため、平成8年に竣工し毎年平均5万人強の利用があり、福祉の拠点としての役割を大いに発揮しています。引き続き、

①「中重度ケア+自立支援介護・重度化防止ケア」を推進します。

②健全経営体制の基盤整備に努めます。

③業務効率の向上と働きやすい環境づくりを整備します。

【昭和保育園】  
保育目標を「よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子ども」と定め、一人ひとりの子どもの気持ちを大切に、子どもが意欲的に関われる環境の中で、同年齢や異年齢の友だちとの遊びを通して体力・意欲を育て、友だちと感心あえるように保育の質の向上に取り組めます。

また、在園している子どもや家庭の支援だけに留まらず、保育の専門性を活かして、妊娠から出産後の子育て支援の拠点となるマイ保育ステーション事業を拡充させていきます。

①運営体制の強化に努めます。

②特別保育事業の強化に努めます。

③地域の子育て支援(マイ保育ステーション)の充実を努めます。

④保育の質の向上と人材育成に努めます。

必要であることから、名張市への要請を行い、施設の長寿命化を図ります。

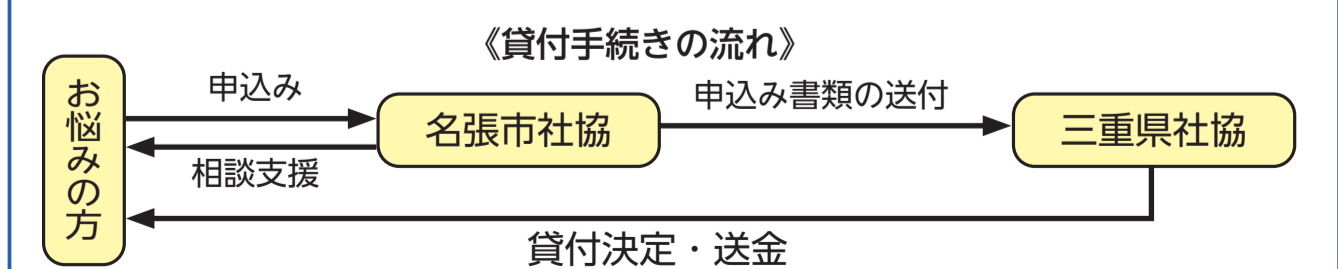
①総合福祉センターふれあいの適切な管理運営業務に取り組みます。

②施設の老朽化対策を名張市と連携して取り組み、設備や機器類の長寿命化を図ります。

③利用者の拡大を図るため、ホームページ、広報誌「ほほえみ」の充実を図るとともに、適切な窓口対応に心がけます。

**新型コロナウイルス感染症対策関連にかかる対応について**  
新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の総合福祉センターふれあい及び老人福祉センター「ふれあい」の利用について、ホームページなどを通じてお知らせいたします。ご不便をおかけしますが何卒ご理解をお願いします。

**新型コロナウイルス感染症の影響を受け生活にお悩みの皆さまへ**  
三重県社会福祉協議会では、低所得世帯等に対して、生活費等の必要な資金の貸付を行う生活福祉資金貸付制度を実施しています。  
現在の新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢を踏まえ、生活福祉資金貸付制度の貸付対象世帯を拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金等の特例貸付を実施しています。  
申込みは7月まで  
【問い合わせ】 名張市社会福祉協議会 なばり暮らしあんしんセンターまで  
☎64・1526 (フリーダイヤル)0800・200・7831



事業計画・予算の詳細は、総合福祉センターふれあい2階地域福祉課総務係または、当会ホームページ(<http://www.nabarishakyo.jp/>)でもご覧いただけます。

